はばたけ

名護幼稚園
名護小学校　便り5号
令和4年5月23日
発行者　仲宗根 勝也

学校だよりカラー版は、名護小学校ホームページに掲載しています。

読みきかせ　はじまりました!

5月20日から児童による読みきかせをスタートさせました。5，6年生が、幼稚園児と1年生に対して行います。5年生にとっては、初めての取組なのでとても緊張していたようですが、担当の5年1組の皆さんは、読みきかせの後もクイズを出したり、幼稚園生とお話ししたりと自分達で考えて楽しい時間を過ごしていました。

6年生は、各学級のの代表の皆さんが1年生の全学級で読みきかせを行ってくれました。どの代表の子もとっても落ち着いていて、上手に読みきかせをしてくれました。読み手の1年生のことを考えて読みきかせをしている6年生はさすがでした。子どもたちによる読みきかせは続きますが、大人による読みきかせは、感染状況次第で再開を検討します。よろしくお願いします。

5年1組さん　ゆり組で読みきかせ

5年1組さん　すみれ組で読みきかせ

6年1組さん　1年1組で読みきかせ

6年2組さん　1年2組で読みきかせ

6年3組さん　6年3組で読みきかせ

6年4組さん　1年4組で読みきかせ

みんな学校へ　児童会はりきってます!

児童会役員の皆さんが、「休み時間の遊び方」と「名護小パワーアップ大作戦」「クラブ活動」について考えて案を持って校長室へ来てくれました。休み時間の遊び方のルール、クラブ活動の種目など、これまで先生（学校）が決ていたものを、子どもたちの意見を取り入れて、一緒に考え取り組むことで、子どもたちの自治活動を育みたいというねらいで始めました。

児童会の皆さんとの話し合いはとても面白く有意義なものになりました。たくさん子どもたちの意見を集めたいと色々なアイデアを考えてくれました。とても頼もしい皆さんです。これからどんどん楽しいこと増えていきそうですね。皆さんの応援もよろしくお願いします。

児童会役員の皆さん

校長講話　行いました。

去る5月18日に初めて校長講話を行いました。その内容を簡単に紹介します。

北極星「ぬふぁ星」は、昔の船乗りの「めあて」として使われていました。そのため「にぬふぁ星」は、目標やめあてという意味で使われるようにもなりました。では、名護小学校の「にぬふぁ星は何でしょう。名護小学校には、「学校目標」と「六諭のころ」という二つのにぬふぁ星があります。その星を目標に、学校生活を送っていますが、その目標が分からなくなた時や見失った時に、その目標に進めるように「心のコンパス」を持って欲しいと思います。心のコンパスの内容は、4つの「きく」です。

まず、1つ目は、「聴く」。耳と目と心の字を＋して聴くという漢字になるので、聴くときには、耳と心で聴きましょう。これで聴くと「相手を大切にすること」になります。

2つめは、「訊く」。質問すると言う意味ですが授業中や困ったときには、すぐに先生やお隣さんに訊いてみましょう。大切なことは、わからないことをわらないままにしないことです。

3つめは、「利く」。色々なことに気づく人になりましょう。ゴミが落ちていたら拾う、はき物が散らかっていたら揃える。困っている人がいたら声をかける。等々で気づいたら、行動することが大切です。

4つめは「効く」。効果が出るまで、何度も粘強くチャレンジしよう。失敗しても成功しても「振り返る」ことで効果が出てきます。

この4つの心のコンパスを持っていれば、目標に向かって進むことができるでしょうというお話をしました。

校長講話　スライドの一部

どの学級の子どもたちも真剣にお話を聴いてくれたので、とても嬉しかったです。その後、トイレのスリッパがきちんと並んでいたり、「これは、何のきくになるかなぁ」と「きく」を意識した活動があったりと嬉しい報告がありました。校長講話の次の日、4年1組の子どもたちが校長室へやってきて「校長講話の日記」を見せてくれました。講話を聴いての感想や考えたことをクラス全員、書いてくれたそうです。どの日記もとても素晴らしい内容でした。これから名護小学校に関わる全ての皆さんが心のコンパスを持ってすてきな名護小学校をつくって欲しいです！。

校長講話　真剣に聴いています

～子どもの日記から～

※紙面の都合上、一人だけ紹介します。

・今日、校長先生のお話がありました。ぼくが心に残ったことが2つあります。1つ目は、分からないことを分からないままにしないことです。2つ目は、聴くという字の意味が心に残りました。これからは授業で分からないことがあってもそのままにしないようにがんばります。また話を聴くときには、目と耳と心で聴きたいと思いました。

4年1組　山城 りょうた

スリッパ並べしてる子　発見！